

札幌市長
秋元 克広 様

20 年 月 日

子ども医療費無料化を求める北海道ネットワーク@sapporo
(連絡先) 新日本婦人の会北海道本部
札幌市東区北 24 条東 1 丁目 4-5
TEL 011-721-2008

札幌市の子ども医療費無料化を 中学校卒業まで拡充してください

【要請趣旨】

子どもの病気は、子育て中の心配ごとの一つです。医療費の負担をなくすことは、大きな子育て支援になります。札幌市では、長年の父母の無料化拡充運動で、18 年 4 月から小学校 1 年生の通院まで拡充されましたが、政令指定都市の中で最低レベルとなっています。

子ども医療費無料化制度は、早期発見・早期治療で、重症化を防ぐ上でも必要です。子どもは、どこに住んでいても、家庭の経済状況にも関係なく、等しく大切に育てられなくてはなりません。子どもたちのいのちと健康を守り、子育てしやすい札幌にするため、下記の事項を要請します。

【要請事項】

一、 中学校卒業までの通院、入院の子ども医療費を無料にしてください。

氏名	住所
	札幌市
	札幌市
	札幌市
	札幌市
	札幌市

* 上記個人情報、札幌市へ提出以外の目的で使用しません。

* 札幌市外の方でも署名できます。札幌市を二重線で消してください。

取扱い団体 ()

北海道知事
高橋 はるみ様

子ども医療費無料化を求める北海道ネットワーク
(連絡先) 新日本婦人の会北海道本部
札幌市東区北24条東1丁目4-5
(TEL) 011-721-2008

北海道の子ども医療費無料化拡充を求める要請書

【要請趣旨】

子育ての大きな不安の一つに、子どもの病気があります。子どもは病気にかかりやすく、抵抗力が弱いため重症化することも多々あります。子どもの病気の早期発見・早期治療、治療の継続を支えるために、医療費の心配をなくすことは、大きな子育て支援になります。

子どもの貧困率調査で北海道は、全国平均を上回る5人に1人が貧困状態であることがわかり、緊急の課題となっています。2017年4月に北海道が発表した「子どもの貧困に関する全道実態調査」では、経済的理由で受診を断念させた世帯が17.8%、非課税世帯では32.6%と高いことがわかりました。

道内の多くの自治体では、少子化対策や子育て支援の充実のため、北海道の基準を上回る医療費助成を拡充させてきています。しかし、財政困難などを理由に地域間格差が広がっているのが現状です。道の無料化助成を拡充させることが、制度の充実と格差解消の大きな手だてになります。

また、お金の心配をすることなく安心して病院にかかれる「現物給付」(窓口無料)は、無料化制度の基本です。北海道は原則「償還払い」(一旦窓口で支払った後、払い戻しを受ける)給付となっていました。道内どこでも「現物給付に」の声におされて、今年8月から助成の支給方法を窓口給付に変更になりました。しかし、この10年間は助成年齢拡充には至っていません。

子どもは、どこに住んでいても、等しく大切に育てられなくてはなりません。北海道の子どもたちのために、下記の事項を要請します。

【要請事項】

- 一、 中学校卒業までの通院、入院の子ども医療費を、無料にしてください。

氏 名	住 所

*上記個人情報は、知事へ提出する以外には使用しません。

取扱い団体 ()

【子ども医療費無料化を求める北海道ネットワーク事務局団体】

北海道社会保障推進協議会／全北海道教職員組合／北海道民主医療機関連合会／北海道保育団体連絡会
北海道生活と健康を守る会連合会／新日本婦人の会北海道本部／札幌社会保障推進協議会